

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公表番号】特表2003-505294(P2003-505294A)

【公表日】平成15年2月12日(2003.2.12)

【出願番号】特願2001-512412(P2001-512412)

【国際特許分類】

B 60 T 8/48 (2006.01)

B 60 T 11/12 (2006.01)

B 60 T 13/16 (2006.01)

【F I】

B 60 T 8/48

B 60 T 11/12

B 60 T 13/16

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月3日(2007.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

図4は、液圧 - 機械式位置追跡コントローラがブレーキ圧力発生器ユニット2に付設されている点が図3と異なっている。この位置追従コントローラは第2の液圧室24を備えている。この第2の液圧室内には追従ピストン25が設けられている。追従ピストン25には調節棒27が付設されている。追従弁26が設けられているこの調節棒は第1のピストン4に作用連結され、その位置はばね6の変形によって変化する。車輪ブレーキ8, 9, 10, 11の方に向いたポンプ出口側の第3の液圧管路7は第1の液圧ピストン室28に案内されている。この第1の液圧ピストン室は追従ピストン25によって第2の液圧室24から分離されている。第2の液圧室24から第4の液圧管路29が車輪ブレーキ8, 9, 10, 11まで案内されている。ブレーキング操作時に、前述の実施の形態と同様に、圧力媒体はばね6を備えた第1の室3から管路7を経てポンプ16に供給され、圧力を高めて第3の管路7を経て第1のピストン室28に案内される。第2の液圧室24から押し出された圧力媒体容積によって、圧力が管路29を経て車輪ブレーキ8, 9, 10, 11を付勢する。圧力の制御はここでは、追従弁26によって行われる。この追従弁はポンプによって発生した圧力に相応して、調節棒27によって開放される。それによって、所定の量の圧力媒体が第5の液圧管路30を経て圧力媒体補給容器20に戻され、それによって追従ピストン25と第4の管路29を経て車輪ブレーキ8, 9, 10, 11に加えられる圧力が制御される。ポンプ16は更に、逆止弁32と絞り33を接続配置した第6の液圧管路31と、第7の液圧管路34を介して、圧力媒体補給容器20に接続されている。それによって、漏洩流、例えば第1のピストン室28内の圧力媒体の損失を生じる追従ピストン26の漏洩流を補償することができる。圧力低下はここでは、追従ピストン25内の中央弁35と圧力媒体補給容器20までの管路30とを介して可能である。